



感染症流行時における避難先について

安全なはずの避難所に人が殺到すると感染症が広がってしまうリスクがあります。感染症下での避難を考えるうえで、少人数の避難先や個別空間を確保できる避難先を優先的に選ぶこと、そして、『分散避難』を心掛けましょう。

分散避難とは、安全な場所にある『親戚・知人宅』『ホテル』や、自宅の安全が確保される場合に、2階以上に避難する『在宅避難』など地域の人たちがそれぞれの場所に避難する事です。地域の避難所の他にも、こうした避難先を考えておきましょう。

分散避難の例



いずれも災害発生後に、水害による浸水や地震による津波、家屋倒壊の危険性がない場合

● 日赤大分県支部からのお知らせ ●

○講習会や防災セミナーの開催状況について

新型コロナウイルス感染症拡大によって中止していた救急法の基礎講習を12月より再開します。事業所向けの短期講習や、各地での防災セミナーは、ご要望内容に合わせて、7月より実施しています。
(感染状況によって開催できない場合もあります。)

○令和2年7月豪雨災害義援金の受付状況について

7月13日に受付を開始した当義援金は、10月23日まで、大分県分として、361件15,217,999円を受付けました。(本社受付分を除く。)当支部に寄せられた義援金は、大分県義援金配分委員会を通じて、全額を被災された方にお届けします。
受付は、令和2年12月28日(月)まで行っています。

講習会の最新情報や義援金のご支援方法は、支部のホームページをご覧になるか、お電話にてお問い合わせください。

アンケートにご協力をお願いします

今後の「日赤おおいた」の紙面づくりの参考とするために、アンケートへのご協力をお願いします。
以下の①～④をご記入のうえ、令和3年1月29日(金)必着で、郵便、FAXにてご回答ください。ご協力いただいた方から抽選で10人の方に、プレゼントします。
皆様のご意見をお持ちしています。



- ①お名前・郵便番号・ご住所・年齢
- ②本紙を読まれた場合(地区など)
- ③本紙へのご意見・ご感想
- ④今後掲載してほしい内容

● 回答先 ●

郵送 〒870-0033
大分市千代町2丁目3番31号
日本赤十字社大分支部 総務課
「日赤おおいた」48号アンケート係
FAX (097) 533-6795
※記念品当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

Facebook 赤十字3施設の情報をリアルタイムで発信中!「赤十字大分 Facebook」で検索して、いいね!をお願いします。

日本赤十字社 大分県支部
Japanese Red Cross Society

大分市千代町2丁目3番31号
TEL(097)534-2236・FAX(097)533-6795
日赤大分 検索 「日赤おおいた」のバックナンバーは、こちらからご覧になれます。
<http://www.oita.jrc.or.jp>

大分赤十字病院
〒870-0033 大分市千代町2丁目2-37
TEL(097)532-6181・FAX(097)533-1207
<http://www.oitasekijyuji.jp/>

大分赤十字血液センター
〒870-0889 大分市大字荏隈717-5
TEL(097)547-1151・FAX(097)547-1141
<http://www.bs.jrc.or.jp/bc9/oita>

献血ルーム・わったん
〒870-1198 大分市大字玉沢字楠本755番地の1
「トキハわさだタウン」3街区2階
TEL(097)574-6822・FAX(097)542-5777
予約専用 ☎0120-489-150

回																			
覧																			

日赤おおいた No. 48

12月はNHK海外たすけあい募金キャンペーン



世界はつながっている。
感染症は、あっという間に距離を越えて、海を越えて広がった。
世界中が同じ危機と向き合い、団結し、乗り越えるために行動した。

世界はつながっている。
感染症はまだ終わったわけではない。怯えている国が、たたかっている国がある。
すべての感染を止めなければ、危機はまたやってくる。

世界はつながっている。
あなたの想いは、世界を救う。めぐりめぐってあなたを救う。

赤十字は、今も、衛生環境の厳しい難民キャンプや災害地域で
感染症の拡大を防ぐ活動を行なっています。

世界を守る。そのためにあなたの想いを託してください。
寄付するあなたも、赤十字の仲間です。

寄付するあなたも赤十字です
<http://campaign.jrc.or.jp/kaigai/>
日赤 海外たすけあい



救うを託されている。

NHK 海外たすけあい 12.1(Tue)～25(Fri)



人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

日本赤十字社 大分県支部
Japanese Red Cross Society



プチ
知識

「たすける」キャンペーンじゃないの…？

かつて、日本で未曾有の災害が起きた時。世界中にある赤十字社を通じて、日赤に 1,000 億円以上の救援金が寄せられました。それらのご支援を、日赤は、仮設住宅で使用する家電セット、被災地のスクールバス、仮設診療所などの整備に充て、復興支援を行いました。世界の赤十字を通じて、“たすけあう” ことができています。

「献血ルームわったん」クリスマス抽選会を実施します!!

期間中、当献血ルームにて、記念品が当たる抽選会を実施します。

冬季は新型コロナウイルス並びにインフルエンザの影響により、輸血用血液の確保が厳しいことが予想されます。ぜひこの機会に、“命をつなぐ” 献血にご協力をお願いいたします！



◆期 間: 12/1(火)～12/25(金)
◆受付時間: 【午前】 9:30～12:50
【午後】 14:00～17:30

※成分献血をご希望の方はWeb、もしくはお電話で事前にご予約ください。
献血Web会員サービス「ラブラッド」 <https://www.kenketsu.jp/Login>
TEL: 0120-489-150
※65歳以上の方の献血については、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。

由布市、日田市、佐伯市、津久見市に災害用資機材を贈呈しました

赤十字の事業を各地域で行うために、各市町村に赤十字窓口を設けています。

日赤大分県支部では、毎年、県内の赤十字窓口から希望を募り、災害用の資機材を整備しており、令和2年度は由布市にテントを、日田市・佐伯市・津久見市には非常用の炊き出し釜を整備しました。これらの資機材を災害の時はもちろん、各地で行う防災セミナーなどでも活用していただきます。皆さまからいただいたご寄付を地域の防災・減災のために役立てています。



▲由布市に整備したテント



▲市町村に整備している炊き出し釜(写真は姫島村のもの)



◀整備した釜での炊き出しの様子



▲車両整備の助成をする年もあります(写真は、豊後大野市の救援車両)

10.14
(WED)

大分市の幼稚園で防災セミナーを開催！



当支部では、日頃から、県内の保育施設や幼稚園、学校などで防災セミナーを開催しています。今回は、富士見が丘幼稚園（大分市：青少年赤十字加盟）で非常炊き出しと、防災学習を行いました。

非常炊き出しでは、災害などで電気が止まった際にも温かいご飯を食べられるように、薪やガスを使用してお湯を沸かし、専用の炊飯袋『ハイゼックス』を用いてお米を炊きました。お米が炊けるまでおよそ 40 分。その間に、防災教材『ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん』を使用して、もし地震が起きたらどうやって自分の身を守るのか、そして避難の際にこういったことに気をつけなければいけないのかということを、紙芝居を用いて一緒に考えました。

頭をフル回転させた後は、いざ実食。子どもたちは目を輝かせ、「もちもちしておいしい!」「もっと食べたい!」などの声が聞かれました。

赤十字は今後もこのような活動を通して、子どもたちの防災意識の向上に取り組めます。



大きな釜を使用してハイゼックスにいったお米を炊きます
普段と違うお米の炊き方に興味津々の園児たち



「ここは土砂が崩れるかもしれないから危ないよね」
園児たちと考えます



いつもと変わらない温かいご飯
「とってもおいしいね!」

日赤への多額の寄付で1名が紺綬褒章を受章し、3名に厚生労働大臣感謝状が贈呈されました



昨年、当支部への活動資金として 500 万円をお寄せいただいた大分市の淵野勝弘様が、広瀬知事より紺綬褒章を伝達されました。また、100 万円をお寄せいただいた大分市の安東敏眞様、安東哲也様には大分市福祉保健部後藤審議監より、姫島村の武田喜一郎様には姫島村藤本村長より、厚生労働大臣感謝状が伝達されました。私たち赤十字の職員は、こうしたご寄付のご厚意に報いるべく、日赤の使命である「人間の命と健康を守る」事業をこれからも行っていきます。

紺綬褒章伝達式



厚生労働大臣感謝状伝達式



高額寄付者のご紹介(令和2年8月～10月まで)

日赤大分県支部に多額の事業資金をお寄せいただいた方を掲載しております。(敬称略・順不同)ご協力、誠にありがとうございます。

▶大分市 宮園勝子 大角秀一 (医)秀明会だいかく病院 ▶日田市 栗野蘭子 ▶九重町 帯刀増雄・ヒロ子